

お西さん

2022
令和4年

1-2



本願寺函館別院
輪番 稲荷 聞教

新しい年の初めにあたり、ご挨拶申し上げます。

皆さまには、お念仏とともに、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年四月に着任以来おかげさまで無事越年できましたことは、これ偏に、崇敬ご寺院の皆さま、別院門信徒の皆さまからお支えいただきましたご芳情の賜と、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、私のお預かりしております自坊は、新潟県の上越市というところでございますが、越後のこの地は、宗祖親鸞聖人が御年三十五歳の時、承元の法難(二二〇七年)により、ご流罪になられご苦労なされた地であります。また、厳しい自然と暮らしの中、この地において恵信尼さまと互いに支え合いながら、お念仏とともに歩まれたご縁の深い地であります。聖人のご旧跡の地に幾多の困難を乗り越え、今日の国府別院が建立されています。

親鸞聖人がご流罪になられた国府は海岸のすぐそばにあり、親鸞聖人の九十年のご生涯で、本当に海に接したご生活は越後時代だけです。親鸞聖人が見つめられたその海は、豪雨で濁った川からの濁流で土色の海、冬の北から

の強い季節風で高波が荒れまくる海、そして時に穏やかで美しい紺碧の海などであったでしょう。

親鸞聖人はご和讃に

「生死の苦海ほとりなし ひさしくしづめる

われらをば 弥陀弘誓のふねのみぞ のせて

てかならずわたしける」

とお示しにられました。

よく仏教は難しい、聴いてもわからん、という苦情を聞きますが、以前聞かせていただいた布教使のお方は、「難しいのは仏教の教えではなくて、人生ではないでしょうか。」と答えられました。

確かに仏法は広く深い教えであります。人間生活の「愛憎違順」一つとつてみても広く深いことを聖人はお詠みになられたのでしよう。

そして「弥陀弘誓のふねのみぞ のせてかならずわたしける」と如来さまのお慈悲の深さ広さを詠まれました。なぜ如来さまが、この私に願いをかけられたのか。それを聞いてこの身におさまることを、生死の苦海を船で往くと喜ばれたのであります。

コロナ禍で混迷を極める社会であります。が、「世の中安穏なれ 仏法ひろまれ」と願われた聖人のみ教えをよりどころとし、すべての人びとが如来さまに願われたお互いとして、敬い合い支え合つて、ともに歩んでまいりましょう。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

合掌

月忌参りお休みのお知らせ

令和4年1月1日(土)~10日(月)(年始参り期間のため)

「なごみ」の寺 本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

ホームページアドレス <http://hongwanji-h.h-tk.jp>

よろこそ函館別院へ 常例布教 布教使さん紹介

◆1月12日(水)～15日(土)



北海道教区 函館組
誓願寺
上野 信子師

この度、本願寺函館別院様、一月常例法座にご縁下さいまして、有難うございます。

今年も雪が降りはじめ、雪かきの季節となりました。雪は、まっ白くきれいです。雪のように白い肌になりたいなーと思いつながら、私は雪かきをしますが、雪の下からは泥で汚れた雪、アツ、この雪私の意そのまんま「あんたの意の内のすがただよ」と、雪かきする毎に気づかされま

す。しかし、すぐに忘れてる私がいまここにいます。広島のお寺のご住職様が、法話会でいつもいつも「言うたとして、気づいてくれぬそなたであることは、よくよくわかっているが、どうかどうかきいておくれよ、気づいてくれよの親のよび声」と、如来様の願いを、お話し下さってました。今一度、親鸞聖人様のみ教えをいただき、如来様の願い、南無阿弥陀仏のおこころを、皆様とともに、お聴聞させていただきます。

※1月16日は輪番法話

※今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じ、休座となる場合もございます。詳しくは西別院までお問い合わせください。

◆2月12日(土)～15日(火)



大阪教区 石川南組
専光寺
多田 大樹師

この度、函館別院様の2月の常例布教のご縁をいただきました大阪教区石川南組専光寺の多田大樹と申します。

思いもしなかったコロナ禍の緊急事態宣言で、生活が大きく変わりましたが、その中での皆様の感染防止対策の努力によってご法座が開かれる事を喜ばせていただいています。

お同行の皆様とご一緒に、私達の還るべき方向を明らかにしてくださいさる阿弥陀如来様のお慈悲を味わわせていただきますように。皆様にお会いできます事を心より楽しみにしております。

合掌

※2月16日は職員法話

祥月永代経法要へ お参りください

函館別院では毎日午後1時30分より本堂にて、これまでに永代経懇志をご進納していただいた方々を対象とした、「祥月永代経法要」をお勤めしています。お勤め中の表白(表敬告白文)においては、その日にご命日(祥月)を迎えられた故人のお名前(法名・俗名)を、読み上げさせていただきます。

永代経法要とは、門信徒の方々のご懇念によつて、ご本山やお寺が護持され、お念仏のみ教えが永代に受け継がれていく法要です。それは、いのちを恵まれた私たちが法要をご縁として、仏恩報謝のこころをあらわすことでもあります。その心はやがて子や孫に受け継がれ、み教えを聞き広めるご縁となります。どうぞこの祥月永代経をご縁として、み教えの相続を慶ばせていただきますよう。

新規で永代経懇志をご進納希望の方はどうぞ別院までお問合せください。

◆場所…函館別院本堂

◆時間…午後1時30分

※当日の諸行事等により法要場所が変更になる場合、その他法要と併修される場合がございます。本堂入口正面の案内板をご確認くださいませ。

函館別院 ☎23-0647

『渡邊・野川が行くNo.7』

野川 「明けましておめでとございませう。」
渡邊 「本年もこのコーナーをよろしくお願ひします。」

野川 「前回は仏様にお供えする花【仏花】に適した花の種類や、組み方についてお話ししました。」
渡邊 「今回は花をいくつお供えにしたら良いのか、仏具も交えてお話ししていきたいと思ひます。」

野川 「確かに仏花をお供えするにしても、左側に1つだけだったり左右に1つずつの計2つあったりと各ご家庭によって数が違つたりしますよね。」
渡邊 「仏花の数は仏具の形式によって変わります。例えばイラスト①のようにお仏壇に向かつて、左からの花瓶・香炉（香をくべる器）・蠟燭立ての3つの仏具で飾られる形式があります。この3つを合わせて【三具足】と言ひます。この場合仏花は1つです。」

野川 「一般的にはこのセットが多いですよね！」
渡邊 「平素においてはこの三具足でもつてお供えしていただくのがよろしいでしょう。」
野川 「その他にはありますか？」
渡邊 「他には【五具足】と呼ばれる形式のものがあります。」

野川 「それはどのような形式なのでしょう？」
渡邊 「五具足とは、香炉1つ・蠟燭立て1つ（2つ）・花瓶1つ（2つ）の計5つの仏具を合わせた名称になります。配置としまして

はイラスト②のように、真ん中に香炉・香炉の左右に蠟燭立て・1番外側に花瓶といった形になります。」

野川 「平素は三具足にするとして、五具足はいつ用いるのでしょうか？」

渡邊 「五具足は法要（行事）や葬儀など特別な日や大切な時などで用ひます。」

野川 「当別院でも普段は三具足ですが、報恩講（親鸞聖人の御命日法要）の時には五具足にお供えを艶やかにしてませう！」

渡邊 「皆さんの各ご家庭におかれましては、法事の時などに五具足にしていたかどうかのよろしいでしょう。」

野川 「しかし五具足が無いご家庭はどのようにしたら良いのでしょうか？」

渡邊 「できるなら五具足を揃えていただくのが望ましいですが、無ければ法事の際三具足でお供えしていただいても差し支えありません。以前からのお話ししている様に大切なのは…」

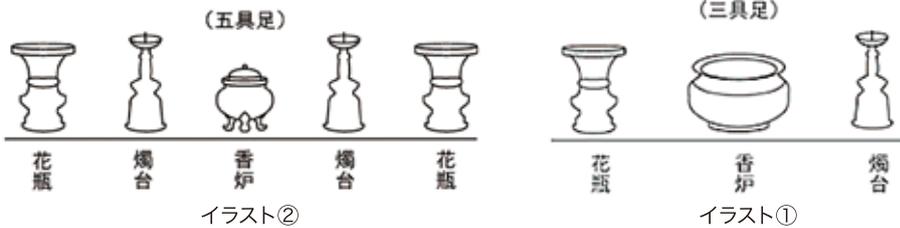
野川 「仏様に対するお敬ひの心!!」
渡邊 「言われてしまいましたね。でもその通り！」

！例えば平素から五具足用いていけないわけではありませんが、五具足揃えているのに片方だけしか仏花をお供えしていないなど粗末にしてしまう様なことには注意しなければなりません。」

野川 「以上4回に渡つて法事のお供えについてお話しさせていただきました。」

渡邊 「これまでのこと以外でもご不明な点や気になることがありましたらどんどんお声がけください！」

野川 「それでは次回もお楽しみに☆」



※ご家庭によつてイラストと仏具の形が異なることがあるかと思ひますが問題ありません

教化団体だより 1・2月

仏教婦人会

仏教壮年会

覚信尼会

YBAはこだて

ボーイスカウト

仏教に学ぶ会

「新型コロナウイルス感染症」感染拡大防止のため、当面の間全教化団体の活動を自粛し、その後の状況に応じて活動を再開いたします。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

令和4年

賀正

新年のご挨拶を
申し上げます

今年の職員の一言は…
あなたの「私の特技」



副輪番
白井 顕生
「音更町出身」



特技と言えるものではありませんが、知人の乗る車の車種とナンバーを覚え、街中で見つけることが得意です。函館市はコンパクトな街なので、色々なところで知人とすれ違うことがあります。
私の車のナンバーは、阿弥陀様が法蔵菩薩と称した修行時代に、一切の衆生を救うために立てられた48の誓願からいただいています。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。



副輪番
吉村 教史
「今金町出身」



学生時代には、特技を聞かれいくつか答えられる特技がありました。
今回特技を聞かれてびっくり…。何一つ残っていませんでした…。でも、これから頑張ってください。一つ残っていませんようにしたいことならあります！
それは、蕎麦打ち！ なぜなら、蕎麦が大好きだから！
自坊のご門徒さんに蕎麦打ち名人がおられました！弟子入り予定です！



副輪番
稲岡 義隆
「滋賀県日野町出身」

今年のテーマは「特技」とのこと。特技…特技ですかあ…、正直、特技って言えるものは無いんですよ。
特技なんて特に無くても大丈夫！やれることをなんとかこなしていく感じで、ゆる〜く生きてます。
でも色々なことに挑戦していけば、そのうち特技らしきことも見つけられるんじゃないか？頑張ってみます！



参
島 晃祐
「和歌山県和歌山市出身」



私の特技は「とりあえずやってみよう」です！やってみようことの最低限の知識を得てから順序良く行うのが効率的とは思いますが、私の「とりあえずやってみよう」はこんな感じにつくりたいとか、こんな感じにしたい。といったイメージだけを思い浮かべてやってみます。まあ、ほとんどが「なんかちがう…。」と終わっていきます。
最近、思い立ってつくってみたものは、子供達が入れる段ボールの家。
お父さん狭い…。と言われた二児の父。
今年もどうぞよろしくお願いいたします！



承 仕
武澤 大智
「長万部町出身」

私の特技は歌の冒頭のみを聞いて、その曲名を当てる、『イントロクイズ』が得意です。好きなジャンル
の曲によつては、2、3秒で当てる
ことができます。普段から音楽を
聞くのが好きなので繰り返し何度
も聞いているから、自然とこの特技
が身についたのかもしれない。



承 仕
佐々木 大慈
「岐阜県
美濃加茂市出身」



私が得意なことは中華料理を作る
ことです。
中華鍋を振り、チャーハンや青椒肉
絲をよく作ります。また、ラーメン研
究家(自称)であり、休日には試行錯
誤を重ね何時間も豚骨を煮て美味し
いラーメンスープを探索したり、麵を
打っています。
自分で作ってみると鶏や豚の命を
頂くことの重みが身に沁みますね。



承 仕
野川 大真
「京都府
京丹後市出身」



私の特技はロードバイクに乗って長
距離を走ることです。残念ながら最近
は乗る機会が減ってしまつて、昔ほど遠
くまで行くことが難しくなつたかもし
れませんが(笑)でも、自転車旅をした
先でご飯を食べることは今でも好きで
す！！ご門徒さんにもロードバイクに
乗っている方がいて話がはずんだり
良いことしかありません！

◆代表役員 輪番

稲荷 聞教

新潟県上越市出身

◆責任役員

村上 智乗

◆責任役員・総代

本間 温子

◆門徒総代

勝木 俊彰

森川 基嗣

小原 幸男

渡邊 威

小原 光一

◆仏教婦人会 会長

三國 和子

◆仏教壮年会 会長

濱野 州喜司

◆YBA函館 副会長

渡邊 敬史

◆覚信尼会 会長

見付 由紀子

◆ボーイスカウト函館
第2団団委員長

加賀 康彦



承仕

渡邊 龍誠

「北斗市出身」



私の特技はモノマネです。小さい頃からマネをするのが好きで気づけば色んな方のモノマネをするようになっていました。レパートリーとしましては、「男はつらいよ」の寅さん（渥美清さん）や歌手の福山雅治さん。また楽器ではトランペットなどなど！興味のある方はぜひリクエストしてみてください！



承仕

山本 瑛行

「芦別市出身」



私の特技はスキー・スノーボードです。私の地元にはスキー場があり、5歳の頃からずつと滑っていました。学校が終わってから毎日友達と通って林の中を滑ったり、ジャンプ台を作って遊んでいました。またスキー教室にも通っていて検定も受けていました。こう見えて意外とスポーツは好きで得意です！ちなみにこの黄色いのが私です（笑）。私がお伺いした際にはぜひ皆様の特技も聞かせてください！



寺務員
山崎 三和
「函館市出身」

特技ではありませんが、食べ物好き嫌いがほとんどありません。

味付けは、辛いのが苦手です。



用務員
石川 光樹
「七飯町出身」

私の特技は、物作りです。意外と手先が器用な方なので、壊れてしまったものなどを分解しつかえそうな部品などを残して、他の物へ再利用が出来た時には「ラッキーやったー！」と心の中で小さく喜んでいきます。でも色々物が増えて置き場所に困っています。



財団職員
岩崎 友紀
「七飯町出身」



ピアノです！唯一幼少の頃から続けていました！

社会人になってからはあまり弾けてませんが、この機会に時間作って好きな曲を練習してみようと思います。音楽大好きです。写真は別な特技の、桃の皮むきしている私です。



臨時職員

加野井 麻子

「函館市出身」



私の特技は「竹馬」です！今では懐かしい物になってしまった竹馬に乗ることが出来ます（笑）。ご年配の方々は乗れる方が多いと思いますが、私の友人・知人に聞いてみると、乗れるという人は10名中0名という結果だったので一応自分の特技ということになります。乗れるようになったのは小学生の頃でした。歩けるだけでなく、小走り・両足でジャンプ・片足でケンケンなどの技もできます！あれから40年くらい経った今でも、きちんと体が覚えていました！某児童館に、スチール製の竹馬があったので乗ってきました。

浄土真宗のみ教え

南無阿彌陀仏

「われにまかせよそのまま救う」の弥陀のよび声

私の煩惱と仏のさとりは本来一つゆえ

「そのまま救う」が弥陀のよび声

ありがとうといただいて

この愚身をまかすこのままで

救い取られる自然の浄土

仏恩報謝のお念仏

み教えを依りどころに生きる者となり

少しずつ執われの心を離れます

生かされていることに感謝して

むさぼりいかりに流されず

穏やかな顔と優しい言葉

喜びも悲しみも分かち合い

日々精一杯つとめます



2021(令和3)年4月15日の「春の法要(立教開宗記念法要)」において、仏恩報謝の道を歩まれた親鸞聖人の生き方に学び、多くの方々に浄土真宗のご法義がわかりやすく伝わるよう、ご門主さまがお示しになられた「浄土真宗のみ教え」。5名の執筆者が『「浄土真宗のみ教え」についての親教』のお心を、それぞれの視点でいただきます。

来る2023(令和5)年、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要をお迎えするにあたり、ぜひご一読ください。価格は本体が220円(税込み)、別途送料が150円。合計370円となっております。又はサイズは片手に収まるほどの大きさで、携帯するのにも便利なサイズとなっております。お求めのお方は下記の記載の本願寺出版社へ直接ご連絡ください。

販売元:浄土真宗本願寺派 本願寺出版社
住所:京都市下京区堀川通花屋下ル
電話番号:0120-464-583
電話にての受付時間:平日9:00~17:00



暮らしの中の拝む心・敬う心を大切に、ご宗旨に添った伝統的なお佛壇から、リビングに似合う家具調まで…。幅広い品揃えで質の高い佛壇・神具をお届けしております。各種提灯を展示しています。ご来店お待ち申し上げます。



(株) 大師堂佛壇店 函館店

函館市若松町4番11号
TEL. 0138-27-2271 FAX. 0138-27-2285

必見 簡単納骨墓石

ご住職様も絶賛!! 蓋を手前に倒すだけで簡単に納骨できます。



- 常時40基以上展示中
- 直輸入だからこそ出来る品質管理と価格の安さ
- 撥水处理、止め金具・ボンド等を使用した責任施工
- 工場があるからこそ出来る再加工等の最適な改修工事

お墓のことなら、なんでもご相談下さい。

株式会社 昭和石材 函館市亀田町22-13
TEL(0138)41-9422

龍谷幼稚園 学校法人認定こども園 だより



生活発表会 R3・12・4(土)

昨年は新型コロナウイルス感染拡大予防対策のためビデオ収録でしたが、今年は(クラス単位ではありませんが)初めて新園舎で保護者を前に発表することが出来ました。

未満児クラスさんは・・・

○0.1歳児さんは普段の朝のルーティーン(挨拶・出席確認・手遊び・お歌・リズム遊び)を披露。

出席確認の場面では、自分以外の呼びかけにも元気にはーい👏、お友達が呼ばれる度にハイ ハイ ハーイ。

👏👏👏お友達がお返事しなかったらその子の腕を挙げてあげハイ👏と普段通り(笑)の様子を見せていました。

○2歳児さんは普段のお散歩の様子を題材にストーリーのあるリトミックを発表。

沢山の視線にグングンやる気を出す子もいれば、絶対にやらない!と意志を固くする子、真面目にしっかりやらなきゃと緊張する子がいたり、それぞれの心の成長過程もしっかり見せてくれました。

以上児(3.4.5歳児)さんは・・・

○3歳児さんの発表は流行語ではなく流行大賞の発表。

4月から経験した活動の中で子どもたちのお気に入りランキングにし発表しました。

英語の歌に手遊び、製作などを差し置いて一位に輝いたのはリトミック!!

リズムに合わせて、つま先立ちでピン!両手広げてピン!背筋伸ばしてピン!のポイントをつかみ素敵に表現しました!

○4歳児さんは「協力」がテーマの龍谷幼稚園オリジナルのオペレッタ

ひとつひとつの力を合わせると大きな力になる!

それぞれの自慢できることを認め合い、協力すると大きな困難も乗り越えられる!

「自分が出来る事・得意とする事を自ら見つけ出す姿」や、「意思疎通がうまくいかず、自己をぶつけ合い互いに悲しい思いをする姿」。「アイデアを出し合い素敵な奇跡を起こす姿」等、子どもたちが見せてくれた姿に、先生方の思いを込め完成した手作りオペレッタ。

CDから流れるセリフに、自分たちの声を重ね堂々と発表することが出来ました。

○5歳児さんは言語劇「ふじぐみ そんごくう」を発表。

オリジナルストーリー作成は、子どもたちから仏参の法話をきいて何を感じ、どう生活に取り入れているかを聞いてみたところ・・・。

「いけないとわかっているのに、やってしまう」「自分がしたことはブーメランのように帰ってくるのは悪い事だけではなく、良い事も聞き心が軽くなった。」「ありがとう、ごめんなさいと言葉で伝えることでお互いの心が温くなる」等など。

既存のストーリーに、子どもたちの「気づき」をプラスし出来た「ふじぐみ そんごくう」。

恥ずかしさや不安もありながらも自分の声で、自分なりの表現でやり遂げようとする姿がありました。

副園長 澁谷 真貴子